

栃木放送平成 22 年度第 2 回 5 月期定例番組審議会議事録

1 開催の日時 平成 22 年 5 月 21 日（金）午前 11 時

2 開催の場所 栃木放送本社会議室

3 委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 7 名

欠席委員 2 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	副委員長	原 沢 佳 子
	委 員	鈴 木 正 好
	委 員	太 田 照 男
	委 員	宇賀神いづみ
	委 員	田 村 澄 夫
	委 員	安 納 守 一
局側出席者氏名	代表取締役社長	栗 山 正 道
	報道制作局長	竹 澤 一 夫
	編成部長待遇	中 山 湖

4 議 題

(1) 「CRTカラオケのど自慢大会」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「CRTカラオケのど自慢大会」について

試聴番組：「CRTカラオケのど自慢大会平成 22 年度予選 1 日目」  
平成 22 年 5 月 1 日（土）13：00～14：00 放送分から  
抜粋

議題説明：中山編成部長待遇

開局 45 周年を機に復活した「CRTカラオケのど自慢大会」について、運営方法、番組の制作方法などについて説明した後、予選 1 日目の番組を試聴した。

各委員からは

- ・ラジオで放送することを考え、視覚的に審査が左右されないように審査員も出場者が見えないところで審査をしたほうが良いのではないか。

- ・女性アナウンサーの、のりが悪い。
  - ・曲の紹介の仕方は、曲名と歌手の名前も入って、女性アナウンサーの方が良かった。番組中で、前回の入賞者のさわりだけでも放送できないか。また、次回会場の募集予告などの情報も番組中に流すと良い。
  - ・他人の歌を延々と聴かされるのはどうかと思う。会場では聴いていられるのだろうが、ラジオで放送になるのは歌だけ。聴く側の面白みが欲しい。
  - ・NHKののど自慢は観客も参加している。全部歌わなくても、途中、鐘で終わっても、臨場感があつた方が良い。
  - ・歌っている本人は、楽しいし聴かせたいし意欲的だと思うが、聴いている人にどう面白く聴かせるかが課題だ。
  - ・聴いている人が“おもしろい”と思うような番組にして、私も出たいと思わせる。そういう内容にしないとだめだ。
  - ・おもしろい人を集めてダイジェストにする方法もあるだろう。
  - ・放送されていない部分の編集をいかにするかが課題だ。
  - ・発表の場があるというのはすばらしい。曲のうまさだけを競うと先細りになるのではないか。素人の良さもひきだして欲しい。
  - ・カラオケ番組の評価を、リスナーからとってみる必要がある。編集は、もう一工夫欲しい。
  - ・50周年はぜひ大々的にやって欲しい。
  - ・他局でも同じようなことをやっていたら、チャンピオンに番組にでてもらったらどうか。
  - ・職場対抗カラオケ大会という方法もある。などの意見が交わされた。
- 当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨説明した。

## (2) その他

22年度第3回6月期の審議会開催日を決めて閉会した。

以上